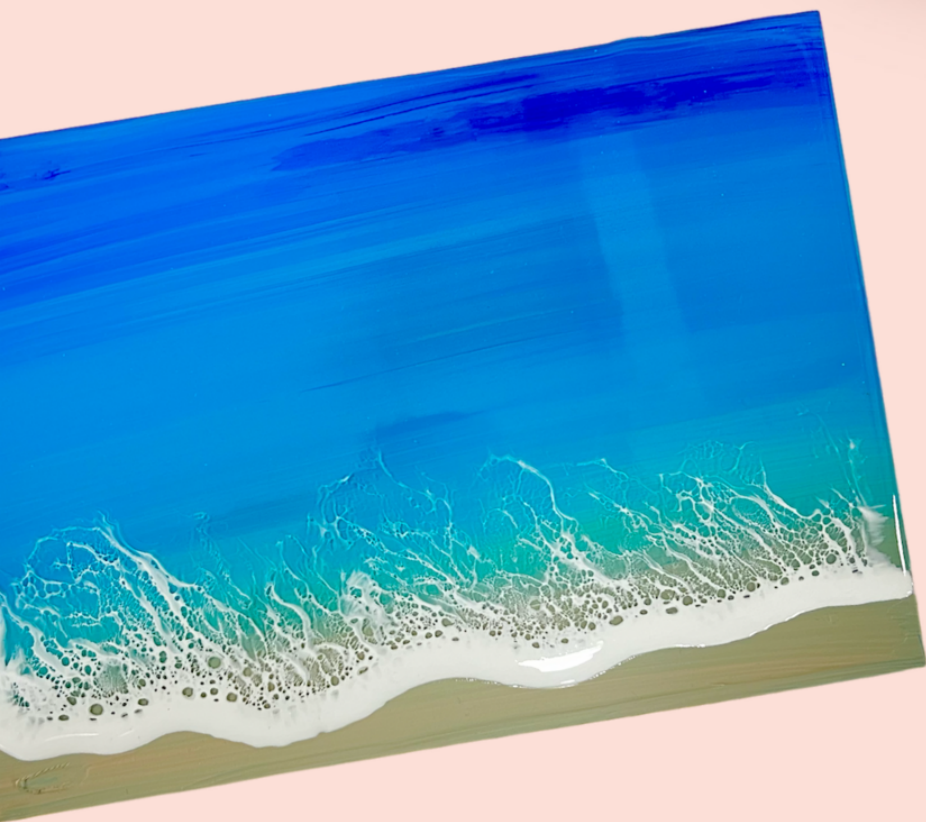


# 海

## SEAプレート

~2技法作り方~



# エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----

注意点①

比率を間違えない



注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**  
主剤 硬化剤

硬化時間 25°C 2日間

適応作品 波アート等の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**  
主剤 硬化剤

硬化時間 23°C 3日間

適応作品 トレーやキューブ等の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **4:3**  
主剤 硬化剤

硬化時間 23°C 3日間

使用用途 作品のコーティング

# 用意するもの



## 材料

- 波専用レジン
- シュプリームホワイト
- Cell Add
- 板
- アクリル絵の具
- コピックインク

## 道具

- 電子スケール
- ヒートガン
- 非接触型温度計
- ガストーチ
- はさみ
- 筆
- バケツ
- スポイト
- ビニール手袋
- 紙コップ
- 混ぜ棒
- カバー箱
- マスキングテープ

## ★作り方★

### ①板の裏にマスキングテープを貼る

流したレジンが裏面に付かない様にする為、マスキングテープを貼る。

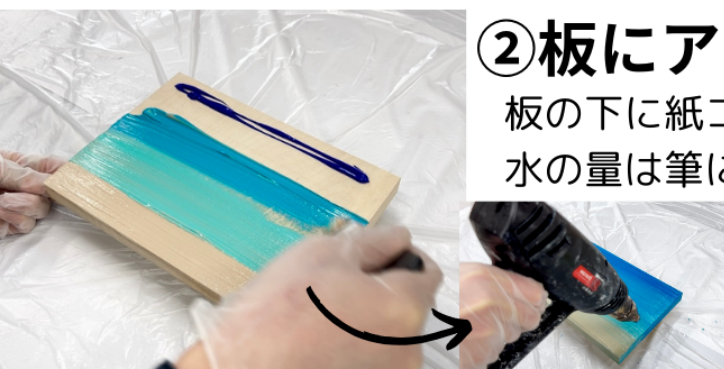


### ②板にアクリル絵の具で色を塗り乾かす

板の下に紙コップを置き、板を浮かせた状態で作業を行う。水の量は筆に染みこませるくらいで塗り、板の側面も塗る。

※絵の具が乾ききる前にグラデーションをかけることがポイント

※色を乾かすためにヒートガンを使用する





### ③ レジンを混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジンを混ぜる。

レジン使用量90gの場合(主剤60g:硬化剤30g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



### ④ レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が40～45度くらいになるまで放置する。

硬化が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジンを温める。その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度で次の工程へ。



### ⑤ 白波用レジンを取り分けて着色し、残りのレジンにコピックインクを混ぜる

紙コップに10g(白波用)を取り分け、シュプリームホワイト(大豆1個分くらい)を混ぜる。

残りの透明レジンにコピックインクを少量(ほんのり色が付くくらい)混ぜる。



### ⑥ 板に海用レジンを流し込む

海用レジンを板に流し、ヘラや指でレジンを広げる。

波打ち際の形も決める。

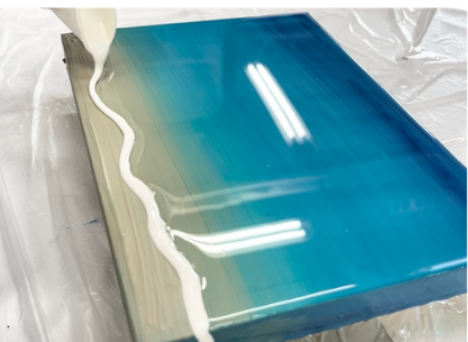
※レジンが緩すぎると波打ち際が手前に流れてきてしまうので粘度に注意



### ⑦ 粘度を確認し、白レジンにCell Addを混ぜる

白レジンを流す直前にCell Addをスポイトで入れて混ぜる。

※10gに対して4～6滴



### ⑧ 白レジンを波打ち際のフチに流す

海用レジンと木製パネルの両方に被るようにして一本線を描く様に白レジンを流す。

白レジンと海用レジンの間に隙間が出来ない様にする。

隙間がある場合はヘラなどで埋める。



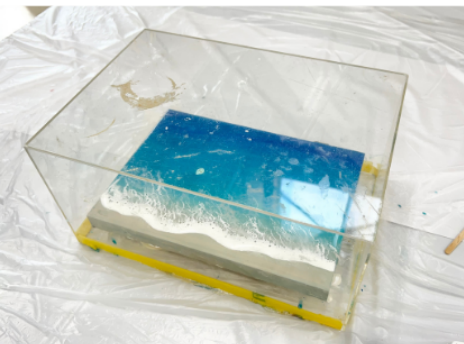
## ⑨ ヒートガンで波を広げる

白レジンが海側レジンの上に、薄く膜を張るように風を当てる。  
1カ所だけに風が当たり続けられない様にヒートガンを左右に振りながら風を当てる。



## ⑩ ガストーチもしくはバーナーで気泡を飛ばす

1点に集中して当てるとその部分だけ焦げてしまう可能性がある  
あるので注意。  
全体に流すように当てる。



## ⑪ 約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



## ⑫ 完全硬化後にマスキングテープを剥がす

ドライヤー等で温めながら剥がす。  
レジンをつらら(垂れ)が取れない時にはカッターなどで切れ込みを入れてから剥がす。



# 海SEAプレート完成！

※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます  
※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます  
※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は  
各SNSからご確認頂けます⇒



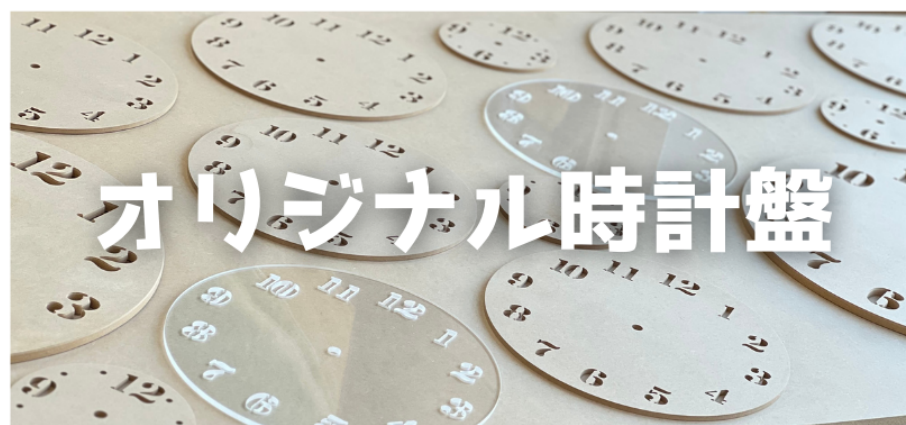
LINE



Instagram

# ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料  
その他材料の購入はこちら⇒

